『ふくしと教育』リニューアルのご案内

《年4回発行となります》

本誌は2023（令和5）年度から全面リニューアルして年4回発行となります。福祉と教育のプラットフォームとして皆様と共に新たな歩みを始めます。5つのアプローチからテーマに迫ります。

アプローチ①《論考・調査・報告》

アプローチ②《実践事例》《NPO/社会福祉法人の挑戦》

アプローチ③《わたしの指導案》《子どもを育む多職種協働》《高大連携事業》

アプローチ④《福祉と教育「ふくし原論」》《学びの多様性「ふくし最前線」》

アプローチ⑤《図書紹介》《イベント・動向分析》

仕様：B5 変形判 本文タテ組 80 頁

価格：1,210 円（本体価格 1,100 円＋税 10%）年間購読料：4,840 円（税込）

発行 通巻 35 号：6 月 1 日 通巻 36 号：9 月 1 日

通巻 37 号：12 月 1 日 通巻 38 号：2024 年 3 月 1 日

※以降、年4回の定期刊行となります。

●2023（令和5）年度のラインナップを紹介します。

※特集テーマ、内容構成などを変更する場合があります。

●通巻 35 号 特集 学校でアプローチする「ふくし」探究学習

現在実施されている学習指導要領の核心の一つが「探究」学習です。多くの教科目での対応が期待される中で、すでに取り組みが始まっている「ふくし」的観点からの様々な探究学習を提示します。子どもを育む多職種協働の実現による取組から考えます。これから導入する学校への実践モデルをめざします。

●通巻 36 号 特集 コロナ社会のふくしボランティア学習の価値

2019 年末からの新型コロナウイルス感染症のパンデミックの中で、福祉やボランティアは、どのような状況であったのでしょうか。コロナ禍の見えていなかった現場を振り返ります。福祉教育・ボランティア学習の本質や価値を問い直し、これからのウィズコロナ社会における「ふくしボランティア学習」を展望します。

●通巻 37 号 特集 重層事業と地域共生社会をめざす福祉教育

2017 年の社会福祉法改正において新たに創設された重層的支援体制整備事業を通して、これからの地域共生社会をめざす福祉教育を開発します。重層的支援体制整備事業では、従来、分野ごと（介護・障害・子育て・生活困窮）に行われていた相談支援や地域づくりにかかる補助に、新たに参加支援の機能強化を図る補助を加えて一体的に執行されます。

●通巻 38 号 特集 子どもの権利をどう守るか《こども家庭庁始動》

子ども権利条約では「子どもの最善の利益」を第一に考えます。2023 年 4 月に設置の「こども家庭庁」は、これまで各府省庁が別々に行ってきた子ども政策を一元的に集約する「企画立案・総合調整部門」、子どもの安全・安心な成長のための政策立案を担う「生育部門」、虐待やいじめ、ひとり親家庭など困難を抱える子どもや家庭の支援にあたる「支援部門」の 3 部門からなります。子どもの権利を擁護する現場の声を聴き取ります。